

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 30 年度 第 2 回理事会 議事録

日時：平成 31 年 3 月 7 日（木） 18：30～21：25

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、寺門、小森、大内、荒井、磯、武士、田口、若山、柘植、宇都木、藤木、柴田、細田、服部、斉藤、関、山倉

（監事）西

欠席：角田、富永、笥、渡辺、磯野

書記：開江（総務副部長）

【 I 審議事項】

1. 総務部・法人対策委員会の業務整理について → 継続審議 (荒井総務部長)
 - ・現在の総務部の業務として、法人対策委員会、規約委員、災害対策委員会、選挙管理委員会へも関わっており、業務役割が煩雑化している。業務内容、業務役割の整理を行う必要があると考えている。
 - ・部局ごとの業務内容を整理し再編していく。（CD との連携は CD 統括部へ、災害関連について災害対策委員会へ、法人対策委員会の業務は総務部へ、等）
 - ・部局ごとの業務内容を再編した具体案を作成し、理事会にて継続審議していく。
 - ・各委員会・各部局において業務内容等を再度確認し再編するようにしていく。
2. 休会届出者について → 承認 (荒井総務部長)
 - ・3月7日時点で7名の休会届の提出があった。
 - ・内容について確認がなされ承認された。
3. 黒木先生叙勲受章祝賀会進捗状況報告 → 継続審議 (田口厚生部長)
 - ・黒木徹前茨城県作業療法士会会長が、秋の叙勲を受章することを記念して、県士会主催にて祝賀会の開催を予定している。資料提示の上、進捗状況について報告がなされ、内容について審議が行われた。
 - ・日程：平成 31 年 4 月 27 日（土） 開催場所：ホテルレイクビュー水戸
時間：9：30 集合、10：00 写真撮影、10：30 受付、11：00 開宴 参加費：一般 5000 円を予定。
 - ・式次第、経歴等が記載された冊子を作成し配布の予定。広報局にて冊子の作成を行っていただく。参加人数が確定次第印刷を依頼していく予定。
 - ・手土産品については、価格と配布対象者を検討していく。
 - ・来賓については県庁と相談し決定していく。黒木様がこれまでに所属してきた病院、施設も招待をしていく。
4. 会員カードについて → 承認 (磯庶務部長)
 - ・資料提示の上、会員カードのデザイン及び文字等について確認がなされた。
 - ・今後の進行については、4月中旬の印刷発注にむけ、会員カードの作成を進める。3～4月頃に HP へ会員カードの変更について掲示。4月発送物に会員カードの変更についての用紙を封入し啓発していく。
5. 茨城県作業療法学会担当医療圏の編成、輪番について → 関係部署確認の上承認 (宇都木学会部長)
 - ・来年度の学会担当医療圏はつくばとなる。それ以降は以下の通りの輪番で担当していく事とする。
 - ⇒2020年：古河・坂東（第6回北関東信越ブロック学会）
 - ⇒2021年：筑西・下妻
 - ⇒2022年：取手・龍ヶ崎/鹿行
 - ⇒2023年：土浦
 - ⇒2024年：常陸太田・ひたちなか
 - ⇒2025年：水戸
 - ⇒2026年：日立

- ・各医療圏に確認し、異論がなければ確定としていく。
6. 第5回北関東信越ブロック学会への参加依頼について → 承認 (宇都木学会部長)
- ・第11回茨城県作業療法学会において最優秀演題賞を受賞された寺門詩織様(水戸済生会総合病院)に第5回北関東信越ブロック大会に参加していただき、一般演題の登録をしていただく。
 - ・第5回北関東信越ブロック学会への参加については、寺門様ご本人からの了承も得ている。
 - ・第5回北関東信越ブロック大会の開催地は新潟県となっている。
 - ・時期については未定となっているが例年、新潟県作業療法学会は9~11月頃に開催されている。
 - ・当士会からの支援として旅費を支給することとする。
7. 第12回茨城県作業療法学会について → 承認 (宇都木学会部長)
- ・開催期日の候補日として2通りの案が提案された。
第一案 2020年2月16日(日)
第二案 2020年2月9日(日)
 - ・第一案としては例年通りの2月第3日曜日。第二案としては、来賓に茨城県保健福祉部の方をお呼びすることとなった際に第3日曜日は准看護師の試験がある為、対応が難しいとのことであり、予め変更しておくことを考慮して提案。
 - ・場所としては例年通り茨城県立医療大学を予定。
 - ・年内開催だと演題が集まらない可能性あり。2月開催だと学生のボランティアが参加しづらいことも考えられる。
 - ・実行委員会と相談し開催期日確定としていく。
8. 平成31年度事業計画の承認の件 → 承認 (大内事務局次長)
- ・会長、各局、各委員会の事業計画を集約し、事業計画書(案)としてまとめた。
 - ・すでに、1月17日の常任理事会では承認をいただいている。当理事会においても確認を行い、出席理事より承認を得た。
9. 平成31年度外部監事について → 総会承認へ (武士財務部長)
- ・外部監事中山様が平成会計社を退職されたため、後任の監事を選定する必要があるため審議が行われた。
 - ・今年度中の業務については中山様が担当していただけることとなっている。
 - ・後任の監事として平成会計社の小泉様を外部監事として推薦していただける方針となっている。
 - ・次年度は小泉様に外部監事を担当していただく方針。
10. 平成30年度事業遂行状況の確認 → 承認 (武士財務部長)
- ・各部署の予算案・事業計画、各医療圏の企画書・全体の予算案について確認が行われた。
 - ・会費、入会金、研修会等のその他収入により、経常収益10,413,740円となっている。会費納入率については95.2%となっている。会費納入率については100%を目指したい。
 - ・経常費用としては12月時点で7,422,839円となっている。
 - ・経常増減額としては、12月時点で2,990,901円となっている。
 - ・公益事業の計上費用比較については教育学術局において、予算と実績の差が多い状況であったが、2月に開催された茨城県作業療法学会により調整が取れている。
 - ・事業遂行率は、事務局管理費99%、広報局78%、教育学術局95%、地域貢献局63%、医療圏75%となっている。
11. 平成31年度予算案の承認について → 承認 (武士財務部長)
- ・平成30年度は87名新会員が増加した。現在の会員数は1023名。来年度も新会員80名で計上している。会費納入率については、100%を目指す。
 - ・経常収益として、12,731,000円、経常費用として、13,597,151円、経常増減額として-866,151円と見込んでいる。

- ・収支バランスが-86万円となっており、前年度の収支バランス-32万円と比較しても、経常費用が増額している。増額の背景としては、教育学術局における研修会開催にかかわる講師謝金・交通費の増額、委員会運営に使用される交通費の増額、IT機器レンタル事業での旅費の増額、祝賀会開催に伴う交際費の増額によるものとなっている。
- ・教育学術局における増額に関しては、旅費交通費だけで約100万円の増加を見込んでいる。内訳としては、純粹に今年度よりも研修会の回数が増えている（MTDLP導入研修2回、特別支援教育人材育成研修会1回、臨床実習指導者研修会2回）こともあるが、特別支援教育人材育成研修会、臨床実習指導者研修会では16時間の研修会となり、講師費用も増額。また、県外からの講師を約半数予定していることもあり予算として多額となっている。
臨床実習指導者研修会については、4時間×4回で実施してほしいとの要望も上がっており、さらに交通費が増額することも予想される。
- ・研修会開催に伴う費用、祝賀会開催に伴う交際費については必要経費となるため、IT機器レンタル事業の見直し（予備費用の削除、託児所謝金・交通費の調整）やOTフェスタ運営部の事業削減等、他の事業との調整をしていくことで承認。
- ・常任理事会にて承認を得ていた事務員の時給増額、賞与についても理事会承認された。

【Ⅱ報告・連絡事項】

1. 次年度役員改選に伴う選挙の実施について （荒井総務部長）
 - ・植田選挙管理委員長より公示文章を作成していただいた。
 - ・平成31年6月2日（日）が総会の為、定款細則に沿って、公示日（選挙日の60日以前）である3月中に全会員に届くように、庶務部より3月中の郵送物にて公示案内文を郵送してもらう。（3月中必着）
 - ・郵送後、ホームページへの選挙実施の案内、立候補用紙を掲載する。
 - ・立候補〆切日（選挙日の30日以前）に基づき、4月26日（金）を立候補締め切りとする。
 - ・4月以降、植田委員長が神栖済生会病院へ異動になりパソコンの使用が出来ないため、立候補届の提出は『なめがた総合医療センターの小沼宛』に実施してもらう。
 - ・立候補届の書類も小沼様から郵送してもらう。
 - ・総会当日は、植田委員長が報告する。
 - ・来年度の日本作業療法士会の代議員の選出については、理事より何名か推薦予定。
2. いきいき茨城ゆめ大会の進捗状況について （荒井総務部長）

【資格審査に関して】

 - ・平成31年2月9日（土）茨城県水戸市生涯学習センターにて、「いきいき茨城ゆめ大会」リハーサル大会に参加する選手の資格審査（2次審査）に、荒井・浅野・三木の3名が参加。
 - ・今後の予定として、平成31年7月13日（土）に、本大会参加選手の資格審査を実施する予定。

【コンディショニングルーム運営準備の進捗状況報告】

 - ・コンディショニングルーム従事希望者応募状況（1月15日現在）
従事希望者21名（のべ48名／当初必要人員55名）＋リーダー4名
3月に再度希望を聞いた上で実際に担当会場を振り分けてから、4月に追加募集を行う予定。
*担当会場：フライングディスク、バレーボール（精神）、バレーボール（知的）の3会場
→OT3名、PT2名の計5名体制
追加の担当会場；陸上（身障・知的）→OTから3名配置
ソフトボール・フットベース（知的）→OTから2名配置
 - ・備品・消耗品（テーピングの種類・個数など）についての見直しを実施し、修正したものを県へ再提出済み。
 - ・研修会の開催について
3月29日（金）19:00～ 第1回コンディショニングルーム従事者対象研修会 開催予定
会場：つくばセントラル病院 D館1階会議室A・B
内容：①全国障害者スポーツ大会についての概要
②コンディショニングルームの役割・従事内容等についての説明

③障害者スポーツへの作業療法士の関わりについての現状報告
以降、従事予定者を対象とした研修会（複数回）を開催予定。

研修会開催後、コンディショニンググループの人員を配置する。現在リーダーを合わせて 25 名程。

【今後の予定】

- 3月14日 障害者スポーツ大会課担当の藤田さんと打ち合わせ予定
- 5月：プレ大会（コンディショニンググループ設置はなし）
- 8月：実施体制決定。必要書類郵送。（プログラム、マニュアル、ID等）
- 9月（9/28～10/8）茨城国体
- 10月（10/12～14）全スポ茨城 コンディショニンググループ設置・運営

3. 第11回茨城県作業療法学会報告

（宇都木学会部長）

【開催概要】

- ・平成31年2月17日（日）開催 会場：茨城県立医療大学
- ・学 会 長：磯野 秀樹（特別養護老人ホーム石名坂聖孝園）
- ・実行委員長：大松 史人（永井ひたちの森病院）
- ・学会テーマ：「医療と介護と福祉をつなぐ作業療法」

【基調講演】

- ・「病院から生活につなげる作業療法のかたち」
- ・講師 村山 幸照先生（相澤病院）

【ランチョンセミナー】

- ・「児童デイサービスにおける地域支援 ～自由な暮らしのために～」
- ・講師 石塚 保士先生（らいおんハート相談事業所東海 理学療法士）

【教育講演】

- ・「当事者のリカバリーに向けた、OTのできること」
- ・講師 渡邊 乾先生（訪問看護ステーション KAZOC）

【当事者展、企業協力等】

- ・明日から使える自助具展（自助具：6 アクティビティ：1）
- ・第3回『私のいがっぺ作品コンテスト』（作品：25）
- ・写真展（計12作品）
- ・ユーザー支援報告（全9医療圏）
- ・出展：株式会社幸和義肢研究、株式会社クリニコ、茨城トヨペット株式会社、おかしやビーンズ滑川作業所（計5社）
- ・広告掲載：株式会社幸和義肢研究、茨城トヨペット株式会社、株式会社クリニコ株式会社シーティング工房8、株式会社ロングライフ、TBファクトリー医療法人誠之会、石名坂聖孝園、永井ひたちの森病院、高萩それいゆ病院、日立医療センター、日立梅ヶ丘病院、シニア健康センターしおさい（計13）
- ・講演前CM：株式会社幸和義肢研究、株式会社クリニコ（計2社）

【一般演題発表】

- ・演題発表数：81 演題
- 口述：31 演題 ポスター：50 演題

【参加者数】

	今年度	前年度	前年度比
正会員	259	274	-15
非会員	8	11	-3
一般・学生	37	25	12
市民公開講座	0	50	-50
体験ブース参加者	0	40	-40
合計	304	400	-96

【当日ボランティア協力者集】

- ・作業療法士：8名（日立医療圏）
- ・茨城県立医療大学学生：6名

- ・アール医療福祉専門学校学生：10名

【託児所利用者数】

- ・計9名の利用があった(2~9歳)
- ・小学3年生まで対応いただいた。

【まとめ、課題】

- ・大きなトラブル等の報告はなく学会が運営できた。
- ・一般演題登録数は前年と同数。
- ・参加者数について、正会員、非会員は昨年よりやや減少。一般は増加した。
昨年度は講演や開催ブースの数が多く、その点が今年度の参加者数に影響した可能性が高い。
- ・一般参加の増加について、一般参加者対象になぜ参加に至ったのか？参加してどうだったか？リサーチしていくと、次の学会にもつながるのではないかと？
- ・当事者作品展のコメント欄が当事者について励みとなるため、追加していく。
- ・正会員の参加率増加は課題。前年度と比較して15名。
- ・一般、学生の参加は増加傾向の為、その点を意識した広報や体験・紹介ブースの設置も必要。
※後援団体、企業、地域包括支援センター、社会福祉協議会、保健所、教育委員会、県立高等学校
- ・機関誌価格が高騰している。昨年度単価：253円(モノクロ)今年度単価：292円(一部カラー)
頁数による影響が大きいように考えており、10~20頁の頁数の削減も検討している(現状は100頁程)。
- ・機関紙の10~20頁削減については、ユーザー支援の頁を削減、セッションの分け方を縮小、内容の集約、案内関係の縮小を行うことで削減可能できると考えている。
- ・機関紙については、学会後に他の団体等にも情報を提供しやすいために利便性の高いものにしていった方が良い。演題についてはインターネット上に掲載していくことも今後検討していく。
- ・学会紙については事務所倉庫内に5~10部ずつ保管している。図書館や他団体等より需要があることがあるため、必要に応じて供給できるように保管は継続する。

【第12回学会について】

- ・担当医療圏：つくば
- ・学会長：浅野祐様(介護老人保健施設そよかぜ)
- ・実行委員長：小野恵美様(筑波大学附属病院)
- ・現在、実行委員会編成を依頼、15名程集まってきた。3月中に第1回の実行委員会を開催予定。

4. IT機器レンタル事業研修会開催の進捗状況 (富永制度対策部長/代理報告：寺門地域貢献局長)

- ・日本作業療法士協会にて、作業療法士のIT機器を活用した臨床活動を支援するため、事業説明会を開催し、平成21年度から事業説明会に参加された会員に意思伝達装置やスイッチ類、平成25年度からは発達分野でも活用できる機器の貸し出しを実施している。
- ・研修会ではPCを用いた支援方法の紹介と新しいコミュニケーション機器の体験を実施。今回は当士会も参加し、共同で開催する。
- ・日時：平成31年7月6日(土) 10:00~17:00
平成31年7月7日(日) 9:20~15:00
- 場所：アール医療福祉専門学校
- 講師：コーディネーター(制度対策部福祉用具対策委員会委員) 予定
田中栄一(国立病院機構八雲病院) 鴨下賢一(静岡県立こども病院)
渋谷亮仁(国立病院機構西新潟中央病院) 高橋知義(株式会社Like Lab)
宗近真理子(国立病院機構兵庫中央病院) 善明史恵(佐賀整肢学園こども発達医療センター)
河津 聡(大阪府立急性期総合医療センター) 小玉武志(済生会西小樽病院・みどりの里)
原 圭祐(訪問看護磐田) 森田傑(ももの木訪問看護リハビリステーション)
中川真人(三才山病院) 糸賀 孝(広島市こども療育センター)
- ・IT活用支援窓口「あいていたいむ」にて申し込みを開始している。〆切については平成31年6月28日(金)となっている。
- ・受講資格については、日本作業療法士会、茨城県作業療法士会共催ということであり検討していく必要がある。

(積み残し課題)

- ・受講資格については、日本作業療法士会、茨城県作業療法士会共催ということであり検討していく必要がある。
- ・当日の託児所について、学会で依頼した保育士2名をご紹介いただきたい。
- ・稟議書については次年度事業のため保留にしてある。
- ・広報について要綱が出来次第、県士会ホームページより関理事に協力をお願いしたい。
- ・次回郵送物に案内を送付したいので磯理事に協力をお願いしたい。

5. 日本作業療法士協会 災害訓練実施報告の件（紙面報告）（寺門地域貢献局長）
 ・安否確認について ML 登録 126 件中 44 件確認完了（2月28日時点）。

6. 介護ロボットについて（小森事務局長）
 ・来週火曜日に県内で最後の報告を実施する。

7. 自動車運転支援について（小森事務局長）
 ・県より県士会に対して運転支援について参加していただきたいとの依頼があった。
 ・県士会としても共同して実施していくために、現在も研修会等実施しており、来年度からも緑川委員長を主となり進めていく。

8. 臨床実習指導者研修について（大場会長）
 ・平成32年度の入学生から、実習地は指定規則として実習時間が週40時間（1日8時間×5日）で実施していくこととなっている。
 ・実習指導者としては、国が認めた研修会を16時間受講することとなっている。
 ・臨床実習指導者研修はすでに開始されており、現在、研修の受講が済んでいる作業療法士は全国で1500名程となっている。
 ・臨床実習指導者としては、臨床実習指導者研修会を受講した作業療法士、認定作業療法士、教員の長期講習を受講している者となっている。
 ・茨城県内では現在講師が5名となっている。県士会が協会からの委託事業として実施するが協会からの費用支弁はない。受益者は養成校であり講師謝金については抑えていくことも検討。
 ・研修会については3か月前には協会から認定をうける必要がある。
 ・実習指導者としては5年以上の経験が必要の為700名程の受講者を確保したい。年に2回は開催したいと考えており
 ・現在の予定では、1回は土日、1回は平日開催で、開催場所としては、アール医療福祉専門学校、県立医療大学で開催していくため会場費は無料となる。
 ・テキスト代の1000円は受益者負担。
 ・将来的には障害教育の中に含まれていくこととなる。
 ・予算については、教育学術局からより細かい予算を出してもらい、調整をしていく必要がある。教育学術局のみで調整がつかない際は、他の部局とも調整をして予算を出していく。

9. 第3回理事会、会計監査について（荒井総務部長）
 ・5月12日（日）10時より、茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内）にて開催予定。
 ・理事会前の9時より会計監査を実施予定。
 ・審議内容は事業報告・決算報告の承認等。

10. 総会について（大内事務局次長）
 ・平成31年6月2日（日）茨城県立医療大学にて開催の予定。
 ・前年度と同様に午前中開催の予定。
 ・総会議案がある方については事前に報告していただく。